
平成 28 年度

まちづくり活動助成 活動視察

女子大地蔵祭実行委員会 「女子大地蔵祭り」

■平成 28 年 7 月 17 日（日）13 時 30 分～

■場所 中区栄 4 丁目・5 丁目

■女子大地蔵祭実行委員会

当会は、中区の栄東地区を中心に活動しています。この地区は少子高齢化、外国人の増加、単身世帯が多く、また住民参加型のイベントが少ないため、コミュニティ関係が希薄といわれています。その地域の片隅でまちを見守るお地蔵さんをシンボルとして、「女子大地蔵祭り」を行い、地域の連帯感とコミュニティへの参加意識を高め、地域の活性化を目的として活動しています。

■活動のようす

「地域“魅力”アップ部門」で選考された女子大地蔵祭実行委員会の「女子大地蔵祭り」の活動を視察しました。 7 月 17 日（日）13 時 30 分中区の池田公園に、主に地域からの参加者 50 名を含む町内会や消防団など総勢約 100 人が集まり、「女子大地蔵祭り」が行われました。



まちを見守るお地蔵さん

公園内では、お地蔵さんがデザインされた白いはっぴ姿の参加者同士や、青いはっぴの町内会の方がさわやかな笑顔で交流していました。池田公園内のテントや中央のやぐらに設置された青いのぼり旗がお祭りの雰囲気盛り上げていました。



式典の安全祈願のようす

池田公園近くの路地の片隅で 70 年にわたり、この地域を見守ってきたお地蔵さんに一礼した後、安全祈願の式典を行い、いよいよ約 3km のお神輿パフォーマンスの出発です。

お神輿を担ぐ参加者と、のぼり旗を持って先導をする町内会の方の「わっしょい！わっしょい！」という威勢のいい掛け声と、笛の音が一体となってあたりに響き、沿道や地域のお店の方も手を振ったり、足を止めて写真を撮っていました。

進行ルート of 10 分間隔ごとに、地元の店舗や企業、中区役所等の協力で 9 か所の御旅所（休憩所）が設置されていました。運営は、町内会や地域の企業等が行い、用意された飲料水を配って参加者をねぎらい、お神輿や参加者に水かけをしてお祭りを盛り上げます。子ども達も一緒になって水かけを楽しんでいました。

栄 4、5 丁目は休日でも交通量が多かったのですが、老松消防団と中警察の交通整理の協力もありスムーズに進行しました。



進行ルートの新栄4、5町目の住民の方からは、まちを通り過ぎてゆくかけ声が心地よいという声がありました。

今回「女子大地蔵祭り」に伺って、参加者と町内会、地域の企業とが協力し、お祭りを一緒になって盛り上げようという熱意と一体感を感じました。地域を見守るお地蔵さんを象徴とした「女子大地蔵祭り」が継続され、地域を代表するお祭りへと発展し、それぞれが帰属意識と連帯感を深め、地域コミュニティの活性化につながることを期待しています。

